

県士会 ニュース

No.240

[2026.8]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —



TOPIC 第7回神奈川県臨床作業療法大会 P. 3

巻頭言	P. 1	理事会議事録	P. 7
第13回定期社員総会	P. 2	WEBサイトリニューアルのお知らせ	P. 8
連載 第3回☆認定OTの世界をのぞいてみた☆	P. 4	神奈川県作業療法士会入会案内（新卒必見！）	P. 8
各部からの報告	P. 4	編集後記	P. 8
エリア化に向けた取り組み	P. 6		

巻頭言

総会と感謝の会 ～作業療法士の心に触れる～



会長 神保 武則

カレンダーを捲ると、「もう 6 月か…」と月日の移り変わりがあっという間に感じる季節。昨日テレビで“関東・甲信越も梅雨入り”と宣言があった。梅雨と聞いただけで反射的に肌がべたつく気もするが、ふと初夏の「あめ」とひらがなで

読めば、心なしか情緒も宿る気がする。涼をもとめる季節も足音を響かせてきた。本年度も、2026 年度事業が少しずつ開始され、慌ただしく時が流れる頃となった。

去る 5 月 10 日に、第 13 回一般社団法人神奈川県作業療法士会定時社員総会が開催されました。当日、現地に足を運んで下さった代議員の皆様、大変ありがとうございました。数多くの事業報告ならびに審議事項に関し、ご承認頂き心より感謝申し上げます。今年度も新たな組織体制のもと、未来に向け更に柔軟な戦略構想を描き、共に強い連携と推進力で有益性のある士会基盤を築いていけるよう努力をして参りたいと思います。その内容の一部になりますが、事務局機能の強化と広報ツールの新たな展

開をお伝え致しました。当会の会員管理システムの確立は、長年の希望でもありました。今年度よりポータルサイトとして設立し、会員管理をシステム化して参ります。会員の皆様に於かれましては、是非とも登録をお願い申し上げます。この会員管理システムは、将来の士会活動をはじめ、専門職である我々の技能や職域を更に活かす可能性を広げる情報ツールの基盤となります。また、会員同士の横の連携や強化に繋がります。さらに、会員の皆様が更に利用しやすいホームページもリニューアルを致します。従来のホームページも大変好評でしたので、従来版を参考にしながら将来的な運用を見直し、工夫を凝らしていきます。今後とも、皆さまのご指導とご協力を承り、益々将来の希望を繋ぐ士会活動を促進していきたいと思ひます。

さて、5 月 30 日には、一般社団法人日本作業療法協会（OT 協会）の定時社員総会が開催されました。ご承知のように、5 月 19 日に厚生労働省内にリハビリテーション統括調整室が設置され、リハビリテーション専門職を有効的に活用し、将来にわたり国民の健康の増進に寄与するリハビリテーションを国家戦略として推進する、とし、重要な国策の概要の説明がありました。また、「理学療法士及び作業療法士

法」1965年施行後約60年間の時代背景にも触れ、我々作業療法士が担う社会的な生活モデルとしての役割などの情報共有がなされ、更にOT協会代議員のクォータ制導入、作業療法士の教育体制構築の基本方針（学士課程を基本とした教育の標準化）が審議され可決しました。さらに、OT協会設立60周年記念式典および記念事業が2026年9月4日に開催するとの報告もありました。

翌5月31日には、『鈴木明子先生と杉原素子先生のご功績を偲び感謝する会』が都内で開催されました。とても心に残る良い会でした。鈴木明子先生は日本の作業療法士第一号です。当時の厚生大臣は鈴木善幸。昭和41年9月21日付の免許書を見て、私の生まれる前にこの作業療法をアメリカから持ってきたのは何とも言えない感動でした。同じく、杉原素子先生は日本の作業療法士第7号です。私が一度は行ってみたい米国南カリフォルニア大学で作業療法を修了し、米国の作業療法士ライセンスも取得。私が5歳の時の話。お二人の数々の偉業を改めて伺い、とても感慨深く両者の功績を脳裏に描く歴史的な偲び会でした。帰宅後に、鈴木明子先生のご家族からの献本『詩集・エール』を拝読しました。今も昔も変わらぬ作業療法の心が描かれており、益々元気を頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

作業療法士として、我々一人ひとりが、今こそ先人たちが築いた歴史を振り返る時。彼らたちの功績

を胸に刻むだけでなく、「作業療法士としての自覚を再認識するとても重要な時期」に来ていると切に思っています。神奈川県は作業療法士が集う重要な拠点とし、誰もが自覚あるミッションを持ち、パッションを抱き、個性を磨くテンションで総力を挙げていきましょう。今年度も神奈川県作業療法士会を何卒宜しくお願い申し上げます。



鈴木明子

1932-2025

杉原素子

1943-2026



第13回定期社員総会が開催されました

令和8年（2026年）5月10日（日）神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会第13回定期社員総会が開催されました。

定期社員総会では、4つの審議事項と2つの報告事項がありました。審議事項については代議員の皆様のご理解とご協力を頂き、全て承認となりました。議事録を県士会ウェブサイトに掲載しておりますのでぜひご確認ください。

以下に審議事項と報告事項を掲載します。

【審議事項】

- ・第1号議案 2025年度（令和7年度）事業報告
- ・第2号議案 2025年度（令和7年度）決算報告
ならびに監査報告
- ・第3号議案 規程の修正について
- ・第4号議案 代議員選挙結果について

➡全て承認

【報告事項】

- ・第1号 2026年度（令和8年度）事業計画について
- ・第2号 2026年度（令和8年度）予算について

（文責：玖島弘規）

第7回神奈川県臨床作業療法大会の 演題募集期間は8月28日（金）まで

第7回神奈川県臨床作業療法大会 事務局 札野優（CreativeHome株式会社山建）

第7回神奈川県臨床作業療法大会は、2026年12月6日（日）に神奈川県立保健福祉大学にて開催を予定しております。大会開催まで半年を切り、当日を迎えるために実行委員一同、日々準備を進めているところです。

前回のニュースでは、県民公開講座や教育講演を中心にプログラムについてお伝えしました。今回は大会テーマである「ニッチは、やがてプロフェッショナルへ」に関連した企画をご紹介します。小さくても確かな実践の積み重ねは、やがて専門性へとつながります。本大会では、「挑戦してみよう！」と若手作業療法士の背中を押し、勇気づけられる大会を目指しています。その一環として、「学会発表への一助」となるプレ企画を6月24日公式Xにて、実行委員自身の経験をもとに、学会発表への第一歩や実践内容についてお伝えしました。演題募集期間は8月28日（金）までとなっております。多くの皆さまからのご発表を心よりお待ちしております。

プレ企画のご紹介！

また、9月以降は「大会に参加してみたいが、どのようなプログラムなのか知りたい」という方向けに企画を用意しています。大会のプレ企画①として、地域社会振興部地域人材育成班と共同し、作業療法士のキャリアロールモデルとして、ニッチな領域で専門性を築いてこられた神奈川県出身のOTをお招きし、これまでの歩みや現在研究者として取り組まれている活動についてお話をいただきます。実践内容として地域支援事業の中で必要となる疫学の研究から見えてくるOTとしての役割について学ぶ機会となるよう、講師や参加者同士が語り合える場として用意しています。

プレ企画②として、MTDLP推進育成課と共同し、MTDLP実践のウラ側を大公開する予定です。実際の臨床現場にMTDLP実践者とOTが協働して、一から創り上げるプロセスを共有していただきます。大会プログラムの一部を垣間見ることで、大会参加を検討されている皆さまにとって、参加のきっかけとなるよう準備を進めています。プレ企画の詳細は公式SNSにて掲載しています。

事前美術鑑賞会の参加者を募集いたします！

大会2大企画の県民公開講座では、全盲の美術鑑賞家である白鳥健二さんをお招きし、ご登壇いただきます。講演内容に関連した事前美術鑑賞会を、2026年11月29日（日）に横須賀美術館にて開催予定です。

共催をいただく横須賀美術館は現在休館中ですが、2026年9月頃の再オープンを予定しています。今回、特別にご協力をいただき、事前美術鑑賞会の開催が実現しました。大会開催地である横須賀の地で、全盲の美術鑑賞家とともに、見えない部分に想像を膨らませる体験をしたいと考えています。

この事前美術鑑賞会には、県士会員の皆さまから若干名の参加者を募集いたします。お申し込みについても公式SNSにて公開しております。事前に参加に関する注意事項をよくお読みいただいた上でお申込みいただけますようお願いいたします。

私自身、昨年眼の病気を経験し、日常生活や臨床業務に大きな影響を受けました。これまで「見えること」が当たり前だったからこそ、そのありがたさを改めて実感しています。白鳥さんのお話に触れ、見えない部分に想像を膨らませる体験ができることを今から楽しみにしています。これから大会までの間、実行委員一同、参加者の皆様と交流を重ねていきたいと考えておりますので、プレ企画・臨床作業療法大会へのご参加お待ちしております。大会に関する情報は公式SNS（X, Instagram）にて随時お知らせをしていますので、みなさまのフォローをお待ちしております！

大会リーフレット



公式X



公式
Instagram



連載

第3回☆認定OTの世界をのぞいてみた☆ ～教育部長インタビュー日記～

「認定作業療法士って、実際どうなんだろう？」
名前は聞いたことがあっても、「取得すると何が変わるの？」
「大変そう…」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

今回お話を伺ったのは、他業界から作業療法士へキャリア
アチェンジし、認定OT取得後も学びを続けながら、県士会
活動や後進育成にも力を注いでいる石川恵美子さんです。

華やかな成功談ではなく、悩み、迷い、折れそうになり
ながらも前に進み続けた“リアルな言葉”が印象的でした。
認定OTを目指す過程そのものが、自分自身の臨床と向き
合う時間だったのかもしれません。

石川さんは、養成校時代に尊敬する先生が認定OTを取
得していたことから、「自分もいつか自然と目指したいと
思っていた」と語ります。一方で、当時の職場には認定
OT取得者がおらず、「何をどう進めればよいか分からな
かった」という不安もあったそうです。

取得過程では、MTDLP事例登録で2度不合格を経験。「も
う諦めたほうがいいのでは」と絶望感も味わったといいま
す。しかしそこで終わらず、合格事例122件を読み込み、MTDLP
そのものを徹底的に研究。さらに、「やっぱり折れない」と決
めて学び続けたことが、大きな転機になったそうです。

また、職場からのサポートはほとんどなく、「お金もも
らえないのに、なんで頑張るの？」と言われたこともあ
ったとか。それでも朝活を続け、時間を捻出しながら学びを
継続したそうです。

認定取得後、「劇的に何かが変わったわけではない」と
石川さんは冷静に振り返ります。しかし、学び続けたこと

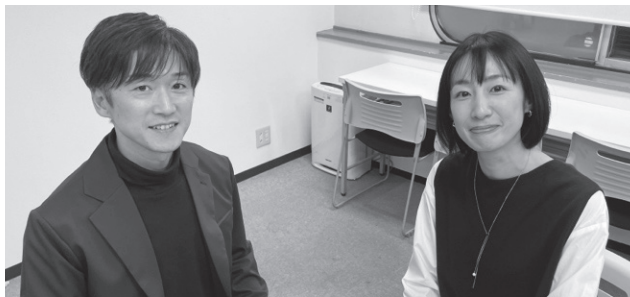
で「もっと知りたい」という探求心が育ち、後輩から「認
定OTを目指したい」と声をかけられるようになったこと
は、大きな喜びだったと語ってくれました。

さらに、「認定OTとは？」という問いに対して、石川
さんは「闇魔様」と表現します。「その名に恥じない実践
ができていますか？」と、自分自身に問い続ける存在なのだ
そうです。ユーモアを交えながらも、その言葉には専門職
としての誠実さが込められていました。

認定作業療法士は、特別な人だけの資格ではありません。

石川さんの言葉から伝わってきたのは、「完璧だから挑戦
する」のではなく、「より良い作業療法をしたい」という思
いが、少しずつ人を成長させていくということでした。

「まずは実践事例をまとめてみることからでも大丈夫です！」
そんな石川さんのメッセージが、次の一步を踏み出すき
っかけになれば幸いです。



写真右：石川恵美子さん

青葉さわい病院 主任 県士会理事 地域振興部副部長
日本出版販売株式会社、社会人実業団バレーボールチームを経て現職。
7年目に認定作業療法士を取得。

写真左（インタビュアー）：神保洋平（県士会理事 教育部長）

▶教育部

各部からの報告 /

2026年度県士会ニュース8月号

連載

MTDLP推進育成課からのお知らせ

－MTDLP推進育成課委員からの一言！！－

OT 協会が「30cm のもの差し」として作成した
MTDLP、皆様は研修会を受講いただいているでしょうか。
MTDLP 推進育成課では多くの方に研修を受けていた
だき、実践と事例報告を経てより理解を深めた指導者を輩出
することができるよう取り組みを続けています。MTDLP
は使用する用紙の多さからどうしても消極的な印象を持ち

がちですが、OT としての思考過程が見える化する上で有
用なツールとなっています。自身の評価や思考に取りこぼ
しがないかを整理することはもちろん、新人や経験年数の
少ない OT に対し上位者が症例を通して助言・指導する上
でも、情報の不足を補うだけでなく臨床思考過程がどのよ
うな視点となっているかを共有しやすいツールです。所属

されている職場で MTDL P がまだ浸透していないなと思われる方は、研修会への参加や事例報告会での聴講をしていただき、まずは触れてみていただくと幸いです。疑問や不明点への問い合わせも随時受け付けておりますので、皆様のご参加・お声掛けをお待ちしております。

(教育部・MTDL P 推進育成課委員 渡邊隼人)

MTDL P 推進育成課では MTDL P 実践者や MTDL P 指導者の育成に力を入れています。私が指導者を目指した 8 年以上前には身近に MTDL P を実践している作業療法士や指導者を取得している作業療法士はいませんでした。そのため、今では口頭試問に変わりましたが指導者の取得に必

要な事例登録に四苦八苦した思い出があります。神奈川県 MTDL P 推進育成課には MTDL P を熟知した指導者や実践者が多く在籍しており、希望者の段階に合わせて手厚いサポートを実施しています。MTDL P について何か疑問点や不明点がありましたら、教育部・MTDL P 推進育成課や各種 MTDL P の研修会の場でいつでもご相談ください。

現在、神奈川県には MTDL P 指導者は 10 人未満です。今ならまだ MTDL P の一番星になれるかもしれません。自身のキャリアアップや臨床指導力の向上、多職種連携の深化にぜひ MTDL P を使ってみてください。何かありましたら当課にご相談下さい、よろしくお願い致します。

(教育部・MTDL P 推進育成課委員 清水拓人)

神奈川県士会 教育部 令和8年度 現職者研修開催します！

教育部では生涯教育制度に関する事業を展開しています。今号は今年度の現職者研修についてご案内します。

●現職者研修とは？

日本OT協会が作業療法士の技能向上を支援する目的で作った生涯教育制度の中の一部です。**認定作業療法士・専門作業療法士を取得するためには生涯教育制度の基礎研修終了(基礎研修自由選択/現職者研修)が必要です。**

●今年度の現職者研修について

現職者共通研修：共通研修は全10テーマあり、テーマ毎に受講。(1コマ90分)

10月4日(日)「作業療法生涯教育概論」、「職業倫理」、「事例報告と事例研究」、「実践のための作業療法研究」

11月29日(日)「作業療法の可能性」、「保健・医療・福祉と地域支援」、「作業療法における協業・後輩育成」、「日本と世界の作業療法の動向」

2月21日(日)「事例報告」「事例検討」

現職者選択研修：選択研修は必須のMTDL Pと領域別研修(身障・精神・発達・老年の4領域のうち1領域以上)を受講。

R9年1月10日(日) 発達領域

R9年1月24日(日) 高齢期領域

※詳細は県士会WEBサイトに後日記載しますので、確認宜しくお願いします。

●現職者研修はこんな方におすすめ！

♪色んな世代、色んな領域のOTRが参加していて、職場を越えた交流をしたい！

♪臨床実践に必要な基礎知識、MTDL Pや各領域の理論を学びたい！(現職者共通/選択研修)

♪認定作業療法士、専門作業療法士を取得したい！



←詳細はこちら

皆様のご参加お待ちしております！

【令和8年度 臨床実習指導者講習会の開催について】

●目的：「理学療法士作業療法士養成施設指定規則」の改定(2018年10月5日)に伴い、臨床実習指導者の要件が変更されました。**実習指導を行う上で、本講習会終了が必須条件**となります。神奈川県作業療法士会でも本講習会を実施しますので、ぜひご参加ください。

●開催要項

日時：令和8年10月/12月

場所：オンライン開催1回・対面開催1回

受講対象：臨床経験5年目以上

●More Information

第3回実践者向け 臨床実習指導研修会アドバンス
開催日：令和9年3月7日

臨床実習指導者講習会(アドバンス)

「指導者はツライよ～実習指導者エンパワーメント参加型研修～」

県士会Webサイトに後日記載

●問い合わせ先：神奈川県作業療法士会 理事
教育部長 神保洋平

y.jimbo.crcotr@gmail.com

▶ 広報部

ウェブサイト管理班 県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

ウェブサイト管理班では作業療法の魅力を多くの方に知ってもらうためにスペシャルコンテンツ【絵本でみる作業療法】を配信しています。いずれの作品も作業療法士が臨床場面で出会った患者さんや利用者さんとのエピソードをもとにした作品です。通常版（ページめくり）以外にも動画版やベテラン作業療法士の解説が入った解説版などがあります。また、今後は英語版の作製にも挑戦していきたいと考えています。現在、8作品が公開されています。公開講座やオープンキャンパスでの模擬授業、新人教育など様々な場面で活用して頂けたらと思います。

絵本でみる作業療法URL：

<https://kana-ot.jp/wpm/p-book/>

（文責：ウェブサイト管理班 清水 拓人）

図) 【絵本でみる作業療法】



絵本でみる作業療法
リンク先：QRコード



▶ エリア連携部

エリア化に向けた取り組みがスタートします 地域に根ざした 作業療法士ネットワークの構築を目指して

神奈川県作業療法士会では、会員同士のつながりを強化し、地域課題に即した活動を推進するため、「エリア化」に向けた取り組みを開始します。これは神奈川県を8つのエリアに区分し、それぞれの地域で主体的な活動が展開できる体制づくりを目指すものです。

近年、作業療法士に求められる役割は医療機関内にとどまらず、介護予防、障害福祉、子ども支援、就労支援など地域全体へと広がっています。一方で、同じ地域で活動していても顔を合わせる機会が少なく、地域課題や活動状況を共有する場が十分ではないという声も聞かれます。

エリア化では、「エリア連携推進会議」「エリア運営会議」「エリアミーティング」の3つの会議体を設置し、地域の作業療法士同士が顔の見える関係を築きながら、地域特性に応じた課題の抽出や活動の企画を

進めていきます。

初年度は、各エリアに所属する作業療法士が抱える課題や地域課題の把握を中心に進め、今後の継続的な活動につなげていく予定です。エリア担当理事やエリア長を中心とした支援体制を整備し、行政機関との連携や地域ネットワークの強化も図ってまいります。

エリア化は、新たな組織づくりが目的ではありません。地域で働く作業療法士同士がつながり、互いに支え合いながら、地域住民の生活を支える力を高めていくための取り組みです。会員の皆さまには、今秋以降、順次開催予定のエリアミーティング等への積極的なご参加をお願いいたします。

地域のつながりから、新たな作業療法の可能性をもとに創り上げていきましょう。

（文責：エリア連携部 佐伯まどか）

理事会議事録

★ 2026年度 4月 理事会 議事録

日 時：2026年4月18日（木）19：00～21：13

開催方式：オンライン

場 所：各自職場または自宅

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局長）、玖島弘規、神田崇央、澤口勇、佐々木秀一、村仲隼一郎、神保洋平、佐藤隼、佐藤範明、佐伯まどか、青木啓一郎、山勢健太郎

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

欠席理事：石川恵美子、野本義則

I. 会長より挨拶

お疲れ様です。職場も年度初めで忙しい中ご対応ありがとうございます。理事の2年目となり、事務局機能も強化をし、運用に対して動き出しています。総会前の最後の理事会で確認事項もあると思います。本日もよろしくお願いします。

II. 審議事項

- 後援依頼について（事務局）
 - 第34回在宅医療・介護セミナー
→賛成多数で承認
 - 第31回日本デイクア学会
→賛成多数で承認
 - 日本リハビリテーション看護学会
→賛成多数で承認
- 推薦依頼について（事務局）

かながわパラスポーツ協会 精神障害者スポーツ大会実行委員 古賀 誠氏（昭和医科大学）
→賛成多数で承認
- 永年会員申請について（事務局）

中川 昌子氏
→賛成多数で承認
- 賛助会員Aについて（事務局）

渡邊 隼人氏
→賛成多数で承認
- 部員申請について（事務局）

→賛成多数で承認
- 部員申請について（事務局）

→賛成多数で承認

 - 臨床実習指導者講習会謝金規定（内規）について
講師謝金 1時間あたり 9,000円、ファシリテーター謝金 1時間あたり 3,350円で設定。
現行の謝金規定と相違ないことを確認した。
世話人の適格性について教育部長が選考時に確認するとされているが部長権限で判断を行うのか。
→教育部長ではなく、教育部内での確認とする。
→賛成多数で承認
 - MTDLP 基礎研修・事例検討会講師謝金規定（内規）について
日本作業療法士協会の謝金規定をもとに作成した。
→賛成多数で承認
- 研修会参加費規程について（規約部）

研修会内容（新入会員オリエンテーションや県士会ガイダンス等）によっては規程以外の対応が可能。
また研修会とミーティングは分けて運用できるようにするが運用方法については理事会で報告が必要となると思われる。
この点については今後、検討する。
- 文書管理規程修正について（規約部）

→賛成多数で承認
今後、部員の委任状等について基本的にはメールで配信予定。
郵送を希望された際は郵送で対応する。
- 研究助成班 事業概要変更について（学術部）
 - 論文投稿先の拡大と掲載原則の明確化、研究経費の追加、研究期間の延長について変更を提案。
論文投稿先の変更については現在、助成している研究も対象とする。
→賛成多数で承認
 - 現在進行中の研究計画書の変更について
倫理委員会での承認に期間を要したため期間延長の申請があった。
→賛成多数で承認
- 第21回神奈川県作業療法学会 会場選定について（学会支援課）

学会実行委員において、会場を公共施設と養成校で検討した。利便性や収容力などをもとに検討した結果、養成校（横浜リハビ

リテーション専門学校）を推奨したいとの申し出があった。横浜リハビリテーション専門学校での開催について審議頂きたい。

→賛成多数で承認

- エリア担当理事について（エリア連携部）

担当エリアについては職場や居住地を中心に配置。今後はエリア長をエリアごとに選出する。
→賛成多数で承認
- 川崎市麻生区における「認知症の人と家族への一体的支援事業」講師依頼について（地域社会振興部）

地域社会振興部と対外広報班で人選し派遣予定。
→賛成多数で承認

III. 審議事項

- 期末監査報告について（財務部）

2026年4月4日（土）神奈川県作業療法士会事務局にて期末監査を実施した。監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていることを確認した。
しかし以下の点に関して改善を検討することをお願いしたい。
・謝金の源泉徴収分は入金、出金の手順を守り、いずれも出納帳へ記入すること
・領収書番号は毎月①からの番号とし、出納帳簿は領収書番号順に入力すること
・勘定科目を確認してから入力する。会議費と福利厚生費、通信運搬費についての混乱がみられたため今一度入力時に確認すること
・書類の提出期限を厳守すること
- 会員ワーキングについて（会員WG）

入会促進の取り組み（OT1年目無償化制度の導入）についてスライドを用いて報告。
・減少傾向であった新規入会者数が「下げ止まり」
・ターゲット層である免許取得年入会者数が「増加」
・若手層へのアプローチとして一定の効果が得られた
総会にて取り組みについて報告予定。理事から意見があれば4月中旬に田中副会長まで連絡。
- 研修会オンデマンド配信に関する運用規程について（学術部）

オンデマンド配信に対するニーズが高まっている一方、運用規程が整備されていなかった。
今後、詳細を検討しながら規程を作成していく。
オンデマンド配信を進めること自体について審議を行いたい。
→賛成多数で承認

IV. トピックス

手当について（意見交換）

- ・時間単位で支給するとなった際、現状の作業時間分の費用を賄うことができるのか
 - ・業務に対する対価とするのか時間としての対価とするのか
 - ・作業時間に対してだけではなく、部員に対して QUO カード配布等ができないか
- 今回の意見交換を踏まえて三役会で検討。

V. その他報告部署・理事

- 県士会表彰について（福利部）

今回の県士会表彰については見送りとする。今後の事業継続については任期の間で検討していく。
- 県士会ホームページについて（広報部）

スタジオチャージとの話し合いを開始していく。それに伴い、各部署にレイアウトや掲載情報についてヒアリングを行うことがある。

VI. 連絡事項

- 定期社員総会日程について

2026年5月10日（日）13:30 から開始予定。総会の議案書について最終確認を依頼中。
- メールの使用について

メールサーバーの移行に伴い、Google アカウントのメールを運用している。各自確認をお願いしたい。
- 2026年度理事会日程について

第3木曜日から第4木曜日に変更。また対面開催は3回予定しており、土曜日の開催を予定している。
詳細はメールで配信予定。

VII. 監事より

錠内監事

前期からの課題に対して、今期も解決に向けて取り組んできた。今まで解決できていなかったことも多く、引き続き次年度も協力して解決に向けて取り組んで頂きたい。

野々垣監事

今期も色々な課題がある中で一つずつ解決してきたと思う。些細なことでも改善に向けた取り組みを行うこと効率が上がり、活動しやすい環境が整ってくる。5月に定期社員総会があるのでそれに向けて頑張りましょう。監査書類についてはくれぐれも不備がないように準備して頂きたい。

文責：玖島 弘規

未来へつなぐ、WEBサイトリニューアルプロジェクト始動！

会員の皆様の日々の活動を支え、大切な情報を発信し続けてきた現在の県士会 WEB サイト。このたび、さらなる利便性の向上とタイムリーな情報共有を目指し、全面リニューアルプロジェクトが正式にスタートいたしました。新しいWEBサイトは、2027年1月の公開を予定しております。

これまでのサイトが培ってきた役割と会員の皆様の歩みを大切に引き継ぎつつ、スマートフォンからもより見やすく、必要な情報へ直感的にアクセスできるスマートなデザインへと進化いたします。皆様の臨床や研究、地域での活動を強力にバックアップする「新たな情報発信の拠点」を構築してまいります。

リニューアルの進捗や移行に伴うお知らせは、今後も本紙や現行サイトで随時お伝えします。新しく生まれ変わる県士会のデジタルプラットフォームに、どうぞご期待ください。

神奈川県作業療法士会入会案内（新卒必見！）

当会では昨年度より、「その年に作業療法士国家試験に合格した方が、当該年の12月末日までに正会員入会申し込みをされると入会金及び初年度年会費の納入が免除」となります。

新卒者の経済的負担を軽減し、作業療法士の第一歩

を後押ししたいとの思いから導入されました。県士会に入会されていない新卒者の方がいましたら、ぜひご紹介ください。

詳細は神奈川県作業療法士会のウェブサイトをご覧ください。（文責 事務局 玖島弘規）

事務局からのお願い

●休会される方

来年度休会予定の方は、2026年12月31日(当日消印有効)までに ①休会届 および ②証明書 を郵送でご提出ください (FAX不可)。(休会届は県士会HPよりダウンロード)

●新システムの決済方法登録は、全会員対象です。(旧システムの情報は引き継ぎません)

●新システムのメールアドレスは、個人のメールアドレスへ変更必須です。

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。8月は夏季休暇や帰省など、普段とは少し異なる時間の流れの中で、人とのつながりや日々の暮らしを改めて感じる季節でもあります。臨床や地域活動においても、一人ひとりの「その人らしい生活」に目を向けることの大切さを感じます。本号が、皆さまの日々の実践や新たな気づきにつながる一助となれば幸いです。どうぞ体調に気をつけて、健やかな夏をお過ごしください。（ゆず）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース〈240号〉2026年8月発行(年6回発行)

発行責任者 神保 武則
編集責任者 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原 保健医療学部 作業療法学科)
編集担当 山岡 洸(湘南慶育病院)
佐藤 愛(悠の木株式会社)
丸岡ちひろ(済生会横浜市東部病院)
松井 洋鷹(淵野辺総合病院)
碓屋 瑛理(佐藤病院)
印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011
横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301号
TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00~15:00
メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト
<https://kana-ot.jp>
→ 作業療法 神奈川 検索



Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>
X <https://x.com/kaotwebkan>